

海と人とのふれあい交流事業 @ 蒲郡

三河湾・蒲郡のポテンシャル

- 観光交流立市がまごおり、地域一体となった海とのふれあいの取組
- セーリング拠点としての高いポテンシャル（海面、施設、滞在環境等）

テザー級世界選手権 蒲郡大会

- 大会期間：2017年7月30日～8月6日
- 会場：豊田自動織機 海陽YH
- 参加：80～100艇、250～300名
(日、豪、NZ、米、加、英、蘭)
- 特徴：①地域とのふれあい交流
②目指せ日本人初チャンプ！

セーリング・ワールドカップ

- 大会期間：2017年10月15日～22日
- 会場：豊田自動織機 海陽YH
- 参加：350艇、520名（約30か国）
- 特徴：①ワールドカップ日本初開催
②東京2020を目指す選手が多数参加

海と人とのふれあい交流事業 @ 蒲郡

<趣旨>

子供たちの海への誘いと“三河湾”の魅力発信

<内容>

①子供たちの海へのいざない

- ・親子によるセーリング競技等研修会&レース観戦、マリンスポーツ拠点見学会、選手等との交流会、ガイドブック等の作成

②海と人との関わりを知る体験活動

- ・三河湾における海と人との関わり体験（地元文化・産業施設等の見学、地元料理等の試食）、SNS等による発信

③セーリングの街“蒲郡”と三河湾の魅力発信

- ・地域の魅力&セーリング等の動画、パブリックビューイング、SNS等による発信

※特 徴

- セーリング団体、行政、教育機関等の多様な団体の連携
- 蒲郡で世界規模の大会が連続開催される貴重な機会を活用して、海と人とのつながりを形成
- 積極的な情報発信の取組（大会特設ウェブサイト、パブリックビューイング、愛知県等の協力を得てメディア、広報誌等での情報提供）

事業の成果

●次世代を担う子供や若者、

地域一般の方々へ

- ・海への好奇心の喚起
- ・セーリング等を通じた貴重な海体験の機会を提供

●世界のセーリング関係者へ

- ・“三河湾と蒲郡”の地域の魅力を紹介
- ・三河湾・蒲郡の知名度アップ、セーリング拠点としての“地域の誇り”

★将来にわたる海と地域の人々のかわり

★2020 東京オリンピック、2026年 愛知・名古屋アジア大会の開催を通じた日本のセーリング文化の発展